

パネルシアターに関する研究



【中野キャンパス】人文社会学部 教育学科 保育・幼稚園コース 准教授

松田 聖子 Matsuda Shoko

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : パネルシアター・児童文化財・造形表現



研究の概要

SDGs 目標 4 : 質の高い教育をみんなに

パネルシアターとは児童文化財の一つであり、1973年に古宇田亮順により考案された。パネル板にPペーパーで作った絵人形を貼ったり外したりしてお話し、歌遊び、ゲーム等を展開していく。

現在、多くの保育者養成校で授業にパネルシアターが取り入れられている。またパネルシアターは多様な科目で取り扱われ、各校が独自の方法で授業実践や評価をおこなっている。

本研究ではパネルシアターを授業に取り入れている複数の養成校の教員が、授業内容の開示をおこなう。またパネルシアターに関する授業を受講した学生に共通項目のアンケート調査をおこない、学びの実像を明らかにする。



図1：パネルシアター自己紹介



図2：なぞなぞ・おはなし

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

パネルシアターを授業に取り入れる、より良い方法を探ることにより、パネルシアターの文化が幼児教育・保育で更に広がっていくことが期待できる。

また学生がパネルシアターの制作方法や演じ方を習得することで実習や現場で身近な文化財として活用していくことができる。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

2024 年度 日本保育学会でポスター発表